

「届けたい！日本の元気。韓国の友情。」 ～KOREA 東北親善大使派遣事業による東北訪問報告～

ソウル事務所

1 はじめに

クリアソウルでは、韓国外国語大学日本学部と連携・協力し、韓国の学生6名を「KOREA 東北親善大使」として、被災地3県（北チーム：宮城、岩手 南チーム：宮城、福島）に派遣しました。委嘱式の様子などは2012年2月のCLAIRメールマガジン（※）で配信しましたが、今回は被災地への訪問の様子などについて報告いたします。

（※）http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201202/2-1.pdf

2 訪問の様子

○スケジュール

	北チーム(宮城・岩手)	南チーム(宮城・福島)
2月14日 (火)	共通日程 ・韓国（仁川空港）⇒日本（仙台空港） ・仙台市内（東北大学の留学生等との意見交換、交流）	
2月15日 (水)	共通日程 ・被災地南三陸町訪問（伊里前仮設商店街、ホテル観洋、ペイサイドアリーナ、入谷 YES 工房、語り部ガイドの案内による被災地視察） ・石巻市「道の駅上品の郷」訪問	
2月16日 (木)	・観光地訪問（岩手県） 狹鼻溪（一関市） 中尊寺、毛越寺（平泉町）	・観光地訪問（福島県） アクアマリンふくしま、いわきららミュウ、 ハワイアンズ（いわき市） ・いわき市長表敬訪問
2月17日 (金)	・観光地訪問（宮城県） 塩竈神社、顔晴れ塩竈（塩竈市） 松島遊覧船、瑞巖寺、円通院、観瀾亭 （松島町）	・観光地訪問（福島県） 鶴ヶ城、末廣酒造、ほしばん絵ろうそく店 （会津若松市） ・会津若松市長表敬訪問
2月18日 (土)	・観光地訪問（宮城県） 鳴子ホテル、桜井こけし店（大崎市）	・観光地訪問（福島県） 大内宿（下郷町） 蔵の街めぐり、全国ラーメンフェスタ （喜多方市）
2月19日 (日)	共通日程 ・日本（仙台空港）⇒韓国（仁川空港）	

KOREA 東北親善大使は、5泊6日の訪問期間中、宮城県南三陸町の被災地を訪問し、実際の被災状況などを視察しました。また、3日目から5日目までの3日間は、北チームと南チームに分かれて観光地を訪問し、名所旧跡を巡ったり地域の特産品を味わったりと、東北の魅力や楽しさを感じていました（なお、訪問の様子は別掲の旅行記をご覧ください）。

3 学生による情報発信

学生たちは、訪問期間中に自らが感じたものをリアルタイムでフェイスブックなどに掲載し、情報発信を行いました。登録者数は学生個人のアカウントを含めると、のべ 1,159 人にも上り、効果的な情報発信を行うことができました。

KOREA 東北親善大使のフェイスブックの URL: <http://facebook.com/tohokukorea>



フェイスブックへの掲載の様子、訪問先からリアルタイムで更新しました。

4 今後の予定

今回の KOREA 東北親善大使派遣事業につきましては、多くの日系マスコミに取り上げられましたが、今後は、韓国内においても今後各種イベントにおける発表やパネル展示、観光関連の新聞での特集記事やホームページへの掲載など多様な媒体による情報発信を行う予定です（次項【参考】）。

5 おわりに

本事業の実施にあたり、多大なるご協力をいただきました東北観光推進機構様、アジアナ航空様、日本観光新聞様、関係自治体及び訪問先関係者の皆様に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。学生たちが、復興に向けて力強く頑張っている東北地方を訪問することができたことは、彼らにとって生涯忘れることのできない貴重な経験となり、日本の正しい情報を発信していく上で必ずや力になるものと考えます。

クレアソウルでは、引き続き韓国内に日本の元気や東北の魅力、楽しさを発信し、訪日観光客の回復に向けて努力してまいります。

【KOREA 東北親善大使派遣事業プロジェクトチーム】

川村祥生（富山県派遣）、小椋 大（宮崎市派遣）

松崎謙二（松山市派遣）、上田将章（鳥取県派遣）

【参考】

○イベントでの発表・展示

名称	日程	場所	主催	発表・展示内容 (本事業関係分)
東日本大震災 から1年 感謝・復興・日 韓友好レセプ ション	3月14日(水)	ソウル市 (日本大使公邸)	在大韓民国日本大使館	学生代表による発表 写真パネル展示
3.11 東日 本大震災記念 シンポジウム	3月15日(木)	ソウル市 (ハジャセンター)	国際交流基金	写真パネル展示
JAPAN Festival in KOREA	3月16日(金) ~22日(木)	ソウル市 (光化門駅内ベセット)	日本観光新聞	写真パネル展示
ピョンテク JAPAN DAY	3月20日(火)	ピョンテク市 (ピョンテク大学)	在大韓民国日本大使館	写真パネル展示

○情報媒体への掲載（予定を含む）

＜新聞・広報誌＞

- ・日本観光新聞での特集企画記事（紙面7面分）

※ホームページでもご覧いただけます（下記 URL）。

http://www.japanpr.com/jtt_special/78993

http://www.japanpr.com/jtt_special/78983

http://www.japanpr.com/jtt_company/78990

http://www.japanpr.com/jtt_company/79036

＜ホームページ・メールマガジン＞

- ・アジアナ航空ホームページ
- ・韓国外国語大学ホームページ
- ・駐韓日系政府機関等への旅行記掲載

【日本観光新聞掲載記事（ホームページ版より抜粋）】

일본관광신문 THE JAPAN TRAVEL TIMES	
■ 전체기사	
■ 정부	
■ 업계	
■ 일반	
■ 여행정보	
■ 단신	
■ 여행상품	
■ 기획특집	
■ 초청칼럼	
■ 비즈니스일본어	

글 수 233

회원 가입 로그인

<동일본대지진 1주기 특별기획>여전히 아름답다. ‘도호쿠’ 뉴스관리자

<http://www.japanpr.com/78993>

2012.03.05 15:28:13 (*.160.72.197)

<동일본대지진 1주기 특별기획>여전히 아름답다. ‘도호쿠’

동일본대지진 1년, 그렇게 1년을 기다린 특별한 여행



2011년 3월 11일, 오후 2시 46분, 거대한 쓰나미가 도호쿠를 삼켰다. 사망 15846명, 행방불명 3317명, 크고 작은 부상을 당한 이들만도 6011명에 이르고, 100만여 동에 이르는 건물과 가옥이 높이 10m의 거대 쓰나미에 막없이 쓰러졌다. 쓰나미는 여기서 그치지 않았다. 거대한 쓰나미의 물줄기는 후쿠시마 제 1원자력 발전소에까지 이르러 방사능 유출이라는 사태까지 야기했다. 그렇게 도호쿠는 슬픈 시련의 땅이 되는 듯 했다.

하지만 그런 천재(天災)도 일본삼경 마츠시마를 삼키진 못했다. 히라이즈미는 세계문화유산에 이름을 올리며 도호쿠의 기적을 만들었다.

동일본대지진 사태로부터 1년, 지진과 쓰나미의 상처는 있을지언정 도호쿠는 여전히 그 신비로운 매력을 발산하는 땅임에 이견을 낼 이는 아무도 없다.

미야기현·후쿠시마현·이와테현 | 이상직 기자 news@japanpr.com

【訳文】 <東日本大震災1年 特別企画1> 今もなお美しい「東北」

東日本大震災1年 1年待った特別な旅行

2011年3月11日、午後2時46分、巨大な津波が東北を飲み込んだ。15,846人が死亡、行方不明者3,317人、重軽傷者だけでも6,011人に至り、100万棟にもものぼる建物や家屋が、高さ10mの巨大津波に力なく倒れた。津波はここで収まらなかった。巨大な津波は福島第一原子力発電所にまで達して放射能漏れという事態を引き起こした。そのように、東北は悲しい試練の土地になるように見えた。

しかし、そのような天災も、日本三景の松島を飲み込むことはなかった。平泉は世界文化遺産に登録され、東北の奇跡を作り出した。

東日本大震災から1年。地震と津波の傷跡があろうとも、東北はまだその神秘的な魅力を放つ土地であることに異議を唱える者は誰もいない。

イ・サンジク記者

～以下続く～